

電気通信普及財団賞受賞者 第1回交流会

実施のご報告

○ はじめに

2021年5月28日（金）15時～18時過ぎにかけて、電気通信普及財団主催、電子情報通信学会共催で、第1回電気通信普及財団賞受賞者交流会が実施されました。

今回の交流会は、コロナ禍において、文理融合したこの貴重な財団賞コミュニティの幅広く且つ継続的な交流を行う場の提供を企図したものです（以下は開催告知ページに掲載された全文になります）。

今まさにスタートした、Beyond 5G（6G）の研究では、高度なAIを用いたデジタルツインによる超スマート社会、宇宙や海底、さらには人間の体内での通信といった、まさに本財団の支援や表彰を差し上げた技術がどんどんと取り上げられています。

このコロナ禍において、本財団では、文理融合したこの貴重なコミュニティの幅広く且つ継続的な交流を行うべく、電気通信普及財団賞の歴代受賞者及び、財団賞に応募実績のある方、財団賞にご関心のある方ほかを対象とした特別講演・交流会を企画しました。

記念すべき第一回目は宇宙飛行士の山崎直子さんをお招きし、「地上 400 キロからみた日本の科学技術の未来」について講演を賜ります。また本財団賞受賞者によるバーチャルポスターセッションを、オンラインツールを駆使して行い、山崎さんを含めて交流の機会を作ります。

多くの歴代受賞者等を含めたコミュニティ・交流の場づくりを目指しておりますので、ぜひご参加ください。

なお当日は、電子情報通信学会の協力の下、1対Nの基調講演、特別講演や、ポスターセッションとして複数人の発表者による配信を同時進行で開催できるブイキューブ社のオンラインイベントプラットフォーム、「EventIn（イベントイン）」にて行いました。

○ プログラム

当日のプログラムは以下の通りでした。主催者の挨拶の後、3部構成で、第一部、基調講演・特別講演、第二部、30秒プレゼン、第三部、ポスターセッションという構成でした。

15:00 開会

ご挨拶 武内電気通信普及財団理事長

電気通信普及財団ご紹介 守屋同財団専務理事

第一部 15:30～16:45

基調講演「Beyond 5G が目指す、未来の世界 –自動運転にみる未来予想型デジタルツイン–」

山中 直明氏（慶應義塾大学理工学部 教授）

特別講演「地上 400 キロからみた日本の科学技術の未来」

山崎 直子氏（宇宙飛行士）

第二部 16:50～

ポスターセッション発表者による 30 秒プレゼン（ピッチ）

第 36 回電気通信普及財団賞受賞者

第三部 ポスターセッション

17:30～18:10 セッション A

18:10～18:50 セッション B

第 36 回電気通信普及財団賞受賞者

閉会

○ 参加者

当日の参加者は、63 名、報告者等を合わせると 83 名となりました。

○ 実施模様

5 月 28 日午後 3 時、電気通信普及財団賞受賞者 第 1 回交流会は予定通り、開始されました。冒頭、武内理事長より挨拶とともに今回の取組みに関する財団としての考えが述べられました。その後、守屋専務理事より財団の取組みについて紹介がありました。

第一部は、まず慶應義塾大学山中先生より未来技術の可能性を「Beyond 5G が目指す、未来の世界」というテーマでお話がありました。続いて、宇宙飛行士の山崎さんより情報通信と宇宙をテーマに「地上 400 キロからみた日本の科学技術の未来」という演題でお話し

いただきました。なお、この山崎さんの講演中の参加者数は 80 名を超え、最大の参加者数を記録しました。

第二部は、ポスターセッション参加者による 30 秒のショートプレゼンが行われました。今回、ポスターセッションに参加された 13 名が、順番に自分の研究について 30 秒で解説しました。また参加されなかった皆さんについては、各自の研究テーマについて事務局より紹介がありました。

第三部は、各部屋に分かれて、ポスターセッションが行われました。報告者も他のセッションに参加できるようにセッションを前後半の 2 部制にしました。各部屋には、参加者が自分の関心に沿って参加していました。ここでは特別講演を行っていただいた山崎さん、基調講演を行っていただいた山中先生の部屋も設けられ、参加者の皆さんと交流しました。

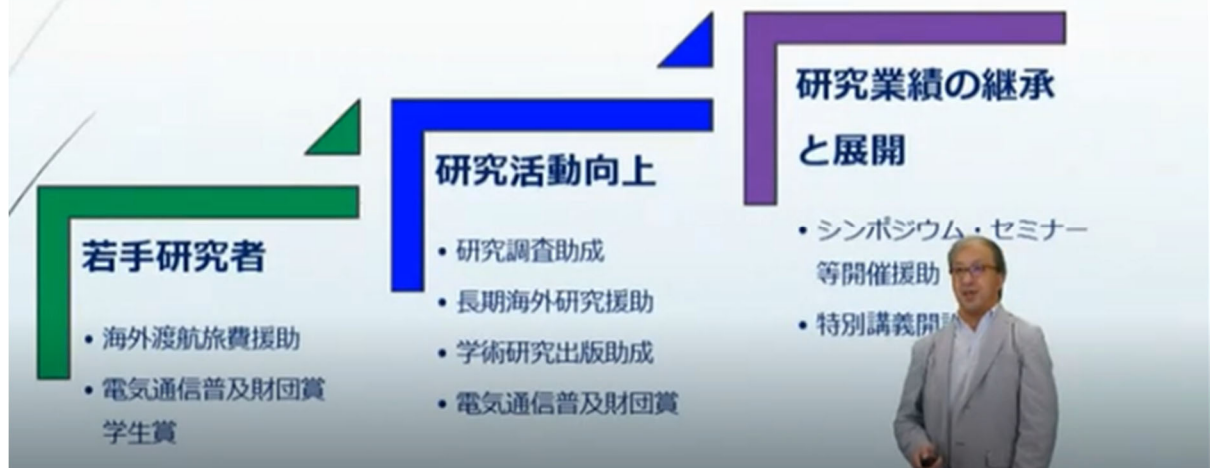
大変充実した交流が行われましたが、最後に、守屋専務理事よりご挨拶し、閉会といたしました。

以上。



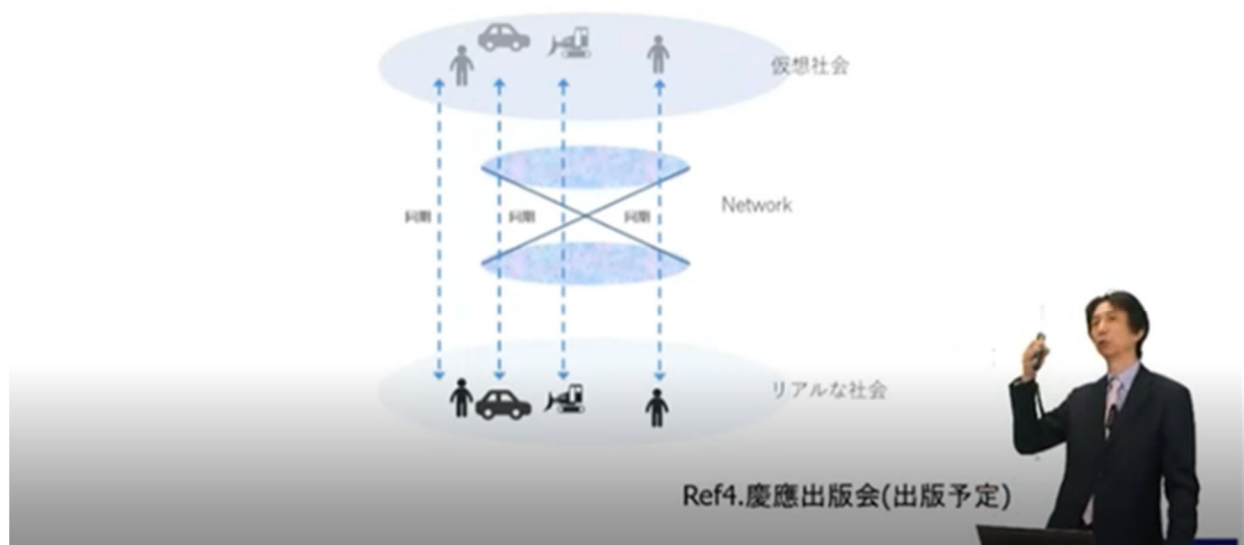
武内理事長のご挨拶

研究者のステップアップと 電気通信普及財団の助成・援助・表彰



守屋専務理事による財団紹介

デジタルツインの社会



基調講演での山中先生

全体プレゼン

宇宙飛行者:約560名 世界38カ国(2019年9月時点)

- ・ 日本人は12名
- ・ 国際宇宙ステーション(ISS)への旅行者は7名
- ・ 有人宇宙船保有国は3カ国のみ(ロシア、米国、中国)
(インドが開発中。ナイジェリアは構想発表(2030年))



宇宙飛行者の数~10名/年

電子情報通信学会・事務局

オンラインで講演する山崎さん

🏠 ロビー 📖 フロアガイド 📺 フロア 01 02

1/10 3/10 0/10

9.Nonlinear Dynamics of Inform 10.10.16-Peta-B's Dense SDM/W 11.Super-Resolution Doppler

🔄 🔍 ホスト不在 表示 🔍

📺 待機中

📄 テーブルを選んで
着席しましょう

NTT docomo

「Joint Processing of Analog Fixed Beamforming and CSI-Based Precoding for Super High Bit Rate...

0/10

名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY

「Heart Rate Variability-Based Driver Drowsiness Detection and Its Validation With EEG」 藤原幸一(名...

0/10

慶應義塾
Keio University

「A wireless body area sensor network based on stretchable passive tags」 発表者:松久直司(慶應義塾大学理工学部電気情報工学科 専任講師) 本論文は、1.5倍までの伸長に耐えて、RFID (radio frequency identifier)通信機能を提供する伸縮性センサの開発について述べている。センサの設計に加えてセンサ...
based on stretchable passive tags」 発表者:松久直司(慶應義塾大学理工学...

1/10

12.Joint Processing of Analog 13.Heart Rate Variability-Base 14.A wireless body area sensor

🔄 🔍 ホスト不在 🔍 🔍 ホスト不在

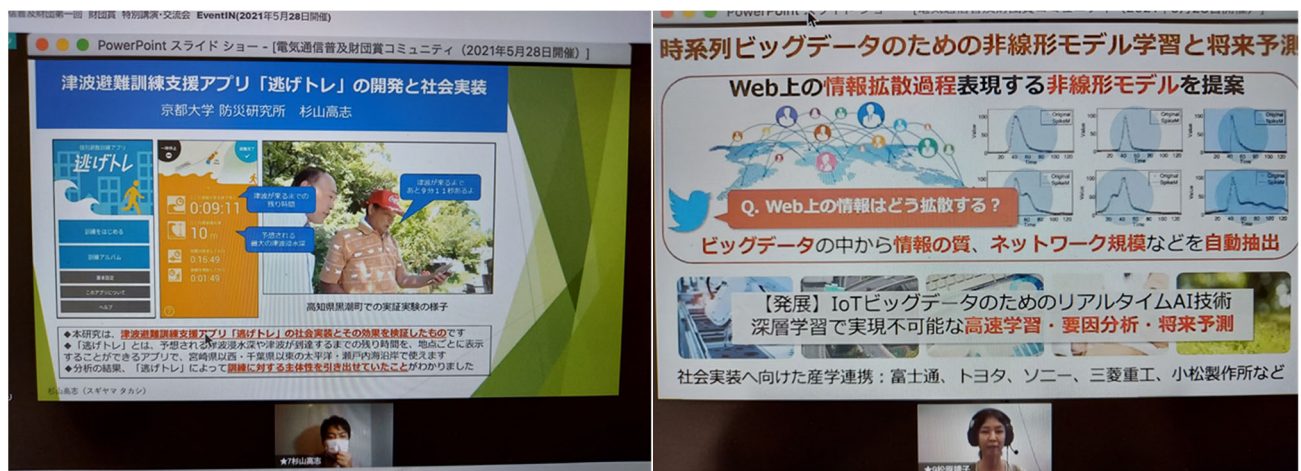
NICT
国立研究開発法人
情報通信研究機構
National Institute of Information and Communications Technology

東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

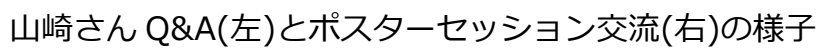
ポスターセッションのフロアの様子



ポスターセッションでのお試し視聴の様子



ポスター発表者 30 秒プレゼンの様子



山崎さん Q&A(左)とポスターセッション交流(右)の様子